



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 アトム

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	18,790	△6.4	995	△4.7	1,197	17.3	604	—
23年3月期第2四半期	20,073	△6.1	1,044	4.7	1,021	5.9	42	△2.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 766百万円 (629.2%) 23年3月期第2四半期 105百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	3.35	3.02
23年3月期第2四半期	0.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	27,647	10,456	37.8	32.23
23年3月期	26,631	9,773	36.7	27.91

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,456百万円 23年3月期 9,773百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,495	△3.8	1,607	△18.0	1,760	△9.3	893	—	4.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	168,469,955 株	23年3月期	168,469,955 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	467,418 株	23年3月期	467,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	168,002,622 株	23年3月期2Q	168,003,068 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想)

本資料に掲載されている業績通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更)

添付の四半期連結財務諸表に表示される科目、その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円で記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替えて表示しております。

(配当の状況)

期末配当予想につきましては、業績動向が不透明なため、現時点では未定とさせていただきます、確定次第速やかに公表いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

※ 当社は、下記のとおり投資家向けの説明会を開催する予定です。  
平成23年11月2日（水）・・・・・・機関投資家向け決算説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあり、欧米の景気減速懸念による急速な円高と株安が進行し、景気は依然として先行き不透明な状況となっております。

外食業界におきましても、夏季の電力供給不足を補う輪番制による休日変更、セシウム汚染の影響及びユッケ食中毒事故の発生による消費者の不信感などから、取り巻く環境は極めて厳しい状況となっております。

このような厳しい状況の中、当社グループは震災により被害を受けた店舗の復旧を行うとともに、新店を6店舗（「寧々家」3店舗、「時遊館」2店舗、「いろはにほへと」1店舗）オープンし、業態変更を5店舗（「Wi11 Be」から「ステーキ宮」へ2店舗、「味のがんこ炎」から「ステーキ宮」へ1店舗、「濱ふうふう」から「ステーキ宮」へ1店舗、「M'sダイニング」から「味のがんこ炎」に1店舗）、改装を5店舗（「ステーキ宮」3店舗、「時遊館」2店舗）行い、不採算店他11店舗（「濱ふうふう」3店舗、「かつ時」2店舗、「がんこ亭」1店舗、「味のがんこ炎」1店舗、「えちぜん」1店舗、「廻転寿司アトムボーイ」1店舗、「時遊館」1店舗、F C店「蟹や徳兵衛」1店舗）の閉鎖を行い、収益改善を進めました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は385店舗（直営店363店舗、F C店22店舗）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は187億90百万円（前期比6.4%減）、営業利益は9億95百万円（同4.7%減）、経常利益は11億97百万円（同17.3%増）となり四半期純利益は6億4百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億16百万円増加し、276億47百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億33百万円増加し、171億91百万円となりました。これは主に災害損失引当金及び未払法人税が減少したものの、短期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億82百万円増加し、104億56百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は31億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億89百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は16億86百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益（6億77百万円）、減価償却費の計上（7億45百万円）及び投資有価証券評価損の計上（2億円）によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3億83百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出（5億98百万円）、敷金及び保証金の差入による支出（99百万円）及び敷金及び保証金の回収による収入（2億69百万円）によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4億13百万円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出（15億14百万円）及び短期借入れによる収入（9億78百万円）によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成23年4月27日に公表しました平成24年3月期の連結業績予想を修正しました。詳しくは、平成23年10月26日に公表した、「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第2四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、一般債権の貸倒見積高につきましては、前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

#### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,279	3,168
売掛金	316	317
たな卸資産	223	266
その他	920	988
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,738	4,740
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,111	9,096
土地	3,991	3,886
その他(純額)	1,336	1,647
有形固定資産合計	14,438	14,629
無形固定資産		
	200	188
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,266	5,178
その他	3,293	3,112
貸倒引当金	△306	△202
投資その他の資産合計	8,253	8,088
固定資産合計	22,892	22,907
資産合計	26,631	27,647
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,877	2,186
短期借入金	—	778
1年内返済予定の長期借入金	2,902	2,908
未払法人税等	170	120
引当金	563	288
その他	2,270	2,600
流動負債合計	7,784	8,881
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	2,200	2,200
長期借入金	4,255	3,315
引当金	16	12
資産除去債務	637	637
その他	1,962	2,143
固定負債合計	9,072	8,309
負債合計	16,857	17,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,973
資本剰余金	6,016	6,016
利益剰余金	1,211	1,732
自己株式	△187	△187
株主資本合計	10,014	10,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△227	△71
繰延ヘッジ損益	△12	△7
その他の包括利益累計額合計	△240	△78
純資産合計	9,773	10,456
負債純資産合計	26,631	27,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	20,073	18,790
売上原価	6,585	5,956
売上総利益	13,488	12,834
販売費及び一般管理費	12,443	11,838
営業利益	1,044	995
営業外収益		
不動産賃貸収入	251	246
貸倒引当金戻入額	—	98
その他	59	156
営業外収益合計	311	501
営業外費用		
支払利息	144	120
不動産賃貸原価	181	166
その他	7	12
営業外費用合計	334	299
経常利益	1,021	1,197
特別利益		
固定資産売却益	1	11
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4	—
貸倒引当金戻入額	9	—
受取保険金	—	11
その他	3	—
特別利益合計	19	23
特別損失		
固定資産除却損	88	114
減損損失	82	72
投資有価証券評価損	77	200
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	482	—
店舗閉鎖家賃	56	136
その他	63	19
特別損失合計	851	543
税金等調整前四半期純利益	189	677
法人税、住民税及び事業税	80	72
法人税等調整額	65	0
法人税等合計	146	72
少数株主損益調整前四半期純利益	42	604
四半期純利益	42	604

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	42	604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	156
繰延ヘッジ損益	33	5
その他の包括利益合計	62	161
四半期包括利益	105	766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105	766
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189	677
減価償却費	808	745
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	31	1
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△207
支払利息	144	120
固定資産除却損	88	114
投資有価証券評価損益 (△は益)	77	200
減損損失	82	72
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	482	—
売上債権の増減額 (△は増加)	67	△1
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11	△43
仕入債務の増減額 (△は減少)	306	309
その他	△277	△80
小計	2,013	1,909
利息及び配当金の受取額	10	9
利息の支払額	△141	△108
法人税等の支払額	△135	△123
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,747	1,686
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△597	△598
敷金及び保証金の差入による支出	△109	△99
敷金及び保証金の回収による収入	295	269
その他	△50	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△462	△383
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	235	978
短期借入金の返済による支出	△262	△200
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△121	△173
長期借入れによる収入	1,793	580
長期借入金の返済による支出	△1,838	△1,514
社債の償還による支出	△671	—
転換社債の償還による支出	△500	—
配当金の支払額	△84	△84
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,450	△413
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△165	889
現金及び現金同等物の期首残高	2,798	2,279
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,633	3,168

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
  
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。